

角田市農業委員会では、優良農地の確保と有効利用に向けた遊休農地の発生防止と解消、意欲ある多様な農業者への農地集積の推進を図る観点から、毎年8月に農業委員、農地利用最適化推進委員及び各地区の農地利用状況調査員による農地パトロールを実施している。

農業経営基盤強化促進法等の一部を改正する法律の施行に伴い、農地の集約化等を進めるため、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する地域計画を市町村で定めることになる。本年度は、農業委員会で目標地図の素案を作成し、市へ提出することになっている。

地図作成に向け、遊休農地等の調査結果は重要な情報となる。委員会は8月2日に事前研修会を開催後、猛暑の中、15地区に分かれ、市内全域の農地パトロールを実施。今年から調査の効率アップのため、タブレット端末を導入した。

遠藤裕一会長は「各委員29名、各地区調査員33名の総勢62名体制で市内全域の農地利用状況調査を行った。今年は地域計画作成の基礎となるもので、協力に感謝している」と語った。

事前説明会の様子



【記事提供】角田市農業委員会